

# 平成10年度 和歌山県文化奨励賞

## ちかのししまいだん 近野獅子舞団

創 立：昭和2年

代 表：岡上 哲三

所 在 地：和歌山県西牟婁郡中辺路町

会 員 数：18名

### ◎業績及び経歴

深い山の緑と富田川・日置川の紺碧の流れに囲まれた西牟婁郡中辺路町では、野中・近露の隣接する両地区の住民が力を合わせ、昭和52年に近野獅子舞団を組織し、貴重な無形民俗文化財「野中の獅子舞」の保存伝承に取り組んでいる。

この野中の獅子舞は、大塔宮軍出陣の舞と伝えられる荒々しく勇壮な舞であり、南北朝時代より700年近く受け継がれている。

この舞が奉納されるのが、野中地区に存在する産土継桜王子神社である。

この神社は、中辺路町に現在も多数残る、遠く平安時代から熊野三山へ参詣するために、かつて人々が往来した熊野古道の周囲に存在する、熊野権現の御子神を順拝するために設けられた、熊野九十九王子の一つである。

熊野古道より石段を上がっていくと、老樹林立したなかに檜皮葺熊野造の本殿が存在する、非常に荘厳な神社である。

毎年11月3日の秋祭りには、近野神社、近露王子跡に合わせ奉納されるほか、正月三ヶ日には地区の一軒一軒を舞って廻り、新年の祝いと悪魔払いを行う。

元来、野中地区は非常に伝統文化の保存伝承を活発に推進している地域であり、昭和2年より保存会を組織し、保存伝承に力を注いできたが、よる過疎化の波には逆らえず、その保存伝承が困難になってきた。

こうしたことから、隣接する近露地区の住民の

協力を得て、近野獅子舞団を組織した後は、活動がより活性化し、地域に根ざした祭事を保存伝承するために弛まぬ努力を続けている。

また、和歌山県民俗芸能大会をはじめ、近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会など数々の大会に出演し、県内外の無形民俗文化財保持団体と交流を深め、互いに切磋琢磨するなど、本県の伝統文化の保護と普及に果たした功績は多大である。

### ■主な表彰歴等

昭和46年 和歌山県指定無形民俗文化財指定